

PO

日本理学療法士協会

R å S ° ì è %ø ð

総会員数 296名 (休会31名)

全98施設

2006.6.15 発行人 日本理学療法士協会 富山県士会
936 0023 滑川市柳原149 9 富山医療福祉専門学校 理学療法学科内 (076) 476 1716
代表:塚本 彰 編集:赤尾 健志 印刷:志貴野苑
士会URL:<http://toyamapt.umin.ne.jp/> 事務局アドレス:toyamapt-office@umin.ac.jp

CONTENTS

巻頭言	2	事務局インフォメーション.....	10
「運動器の機能向上 プログラムの実際」に参加して.....	3	情報管理部の窓口から.....	10
職能局研修会報告	4・6	編集後記.....	10
富山県理学療法学会.....	5	平成18年度賛助会員名簿.....	11
士会員の独り言.....	7	会員異動状況.....	12
理事会報告.....	8 ~ 9	平成18年度求人広告.....	14 ~ 16



巻 頭 言

富山県理学療法士会長 塚 本 彰

平成18年度は診療報酬、介護報酬の改定により波乱の幕開けとなりましたが、あなたの職場では新しい新人を迎えての変化や医療介護報酬改定に伴う変化などの対応に追われ大変な時期だったでしょう。

理学療法が今回の改正などでどのように変わってきたか。また、あなたに求められるリハビリテーション・理学療法は何か？ あなたに何が出来るか？ など再考しなければならない時代となってきました。

リハビリテーション・理学療法部門に求められるものを挙げてみました。

その1 マネジメントの重要性

職場の運営と安全管理と感染予防や個人情報保護と並列して心を大切にする言葉かけ働きかけ技術は理学療法を行う上で重要となっている。

その2 インフォームドコンセント (リハビリテーション実施計画書)

理学療法士として、リハビリテーション医や関連職種と連携をとりながら今まで以上に具体的な提案が必要となります。患者さまがあなたに求めていることは何でしょうか？ 理学療法の目標達成ができていますか？ (カンファレンスで他科の医師、看護師に対していつまでどのようなADLが獲得できると言えますか？) 目標を優先するあまり過大な期待を患者様に持たせていませんか？ 障がいを使い分けていますか？ (治ると残る障がいについて)

その3 連携について

いま、各施設は地域連携パスに見られるように機能分化が求められています。

あなたの施設はどのような役割を担うのでしょうか？ 現在、地域連携パスが大腿骨頸部骨折で実施されていますが、地域で必要とする疾患別パスを共有して連携をとりあっていくことが重要です。

富山県士会では職場マネジメントの重要性から全国に先駆けてマネジメント研修会や理学療法士職場管理者会議を行なっています。

また、理学療法の目標については學術部各専門領域研究会にて評価・治療技術の習得からADL能力獲得の時期予測が身につけてきます。

そして、地域連携については今後、急速に各疾患に波及していくとおもわれますが、地域連携は各地域で考えていくことが必要です。その地域の中で理学療法士と患者さまにとって最善の地域連携のために必要と思われるものを創造できればと思っています。

最後に時代変化 (環境変化も同じ) の大きな波に立ち向かうためには現状の感覚の「ずれ」を修正し、新たな創造性を持ち理学療法を進めていかなければなりません。「ずれ」の克服はあなたを成長させますが、「ずれ」を感じないあなたはどうなるでしょう。創造力を働かせ感覚入力を運動出力に変え、あなたの思いと行動のずれも小さくしましょう。

「ずれ」が無くなれば早く原稿を書くことが出来るのに、仕事も溜まらず机の上も整理できるのと思う毎日です。

『運動器の機能向上プログラムの実際』に参加して

平成18年2月25日 ボルファートとやまにて富山県作業療法士会、日本健康運動指導士会富山県支部、北陸フィットネス協会との共催で『運動器の機能向上プログラムの実際』講習会が開催されました。4月の介護保険制度改正にむけて皆さんの関心は高く、様々な職種の方が計234名参加されました。

富山市介護保険課の理学療法士木林先生には『運動器機能向上総論』、アピアスポーツクラブの北陸フィットネス協会水橋先生には『評価の実際』、同クラブの健康運動指導会銅先生には『機器を用いない運動の実際』、老人保健施設シルバーケア栗山作業療法士の小倉先生には『機器を用いた運動の実際』というテーマで講演して頂きました。

私自身、研修会などに参加するのは2～3年振りで、その間本などを読んで調べたりしていましたが要点がつかみにくかったりと時間がかかりましたが、久しぶりに研修に参加して介護予防サービスの実施の流れや、身体機能評価での留意点や条件、また機器を用いた・用いない運動の具体的な内容やその際の留意点や声かけなど非常に分かり易く学ぶことができました。また、多数の様々な職種の方が介護予防サービスに関心を持って携わっているんだということも分かり、今後はそれぞれの専門性を発揮しつつ連携をして、より良いサービスを提供していかなければならないなと思いました。

私的なことではありますが、自身が関わっている『富山県聴覚障害者の医療を考える会』の医療班・介護班の活動においても、今回学んだ介護サービスの流れや簡単な実技的なことを聴覚障害者の方に情報提供したいと思います。

福光あおい病院 水木 宏一



「知っとかんにゃ最新情報」報告

あさひ総合病院 若嶋 正勝

去る平成18年2月25日、“知っとかんにゃ最新情報”と題して職能局主催の医療保険・介護保険に関する研修会が富山市障害者福祉プラザにて開催されました。4月からの改定にむけてかなり大幅に改定されるにもかかわらずこの時点では詳細な情報が少なかったため、先行きに不安を感じている人は多く、参加者は予定を大幅に上回り60人を超えました。

はじめに医療保険については県立中央病院の増山氏、次いで介護保険について矢野神経内科医院の飯島氏、最後に障害者自立支援法について、障害者福祉プラザの藤井氏によりそれぞれの概要についての説明がありました。

この頃、私の所属するリハビリテーション科では今改定でどうなるのかという不安のまった中であり、この日もスタッフみんなから絞り出してもらったたくさんの質問を携えこの研修会に参加していました。私は職能局医療保険部所属、病院勤務という立場から医療保険のことに中心に述べさせていただきますと、医療保険部門の講義の内容は診療報酬改定に関する疑問についてQ&A方式で答えていくもので、これまでに公表されている情報やインターネット等で収集された情報を中心としたものでした。この時点では確定情報が少なく、情報が混乱しているため、“現時点での疑問点を整理する”という目的での内容でした。すべては確定しておらずこれからも変わっていくものであるという前提ではありましたが、わかるほどに不安がさらに強くなっていくのを感じました。

研修会終了後、私は頻繁にインターネットに接続するようになりました。インターネット上では活発に情報や意見が交わされ、噂や未確定情報、愚痴まで毎日かなりの盛り上がりを見せていました。インターネットが普及し接続すれば毎日のように更新されてゆく最新情報が得られ、反面ただ待っているだけでは情報量は限られて取り残されてしまう。今回の診療報酬の改定と向き合って一番感じたこと、それは情報収集の戦いだということ。これからが正念場。この文が皆さんに読まれる頃にはうまく業務がまわっているだろうか。そうなっていること切に願うこの頃です。



富山県理学療法学会 学術大会

平成18年3月12日、日曜に南砺市（旧福野町）のア・ミュージックホールにて「理学療法と社会貢献」というテーマにて会員参加約100名にて開催されました。

当日は、豪雪の年にふさわしく?! 雪混じるミゾレという天候でした。

特別講演では富山Y M C A 総主事の島田茂先生による、「社会貢献・ボランティアの心」理学療法士の方々に期待すること という演題にて、島田先生がY M C A に勤められて来た経緯や富山県の素晴らしさ、そして今、こうして理学療法士の我々の行っている事を認めていただき、後押しし応援して下さる気持ちが講演の中で島田先生独自の個性・性格が伝わる講演でした。

堀尾大会長講演では、「富山県寝たきり老人ゼロキャラバンと富山県理学療法士会の関わり」寝たきり老人ゼロキャラバン13年間のまとめ というテーマにて、13年間の活動実績が第9回地域保健全国大会にて日本公衆衛生学会会長賞の表彰を受けた経緯や活動の足跡を振り返り、今後の社会貢献としての理学療法のあり方を講演されました。

午後は一般演題12演題の発表があり、日頃の士会員の皆様の研究成果が発表されていました。会員数が増加する中、より専門分野・幅広い知識が求められているかが実感されました。

最後に、学術大会にご協力いただいた皆様に深く感謝をし、益々皆様の富山県理学療法士会の発展にご協力をお願いしたいと思います。
(南砺市民病院 高田 欣司)



クローズアップ「医療・介護保険改正とリハビリテーション」

～どうなる、これからのリハビリテーション～

介護保険部 飯島 忠雄



5月21日（日）富山医療福祉専門学校において、職能局研修会「医療・介護保険改正とリハビリテーション」が行われました。これは職能局の業務推進部が中心となり、医療保険部・介護保険部の協力により4月改正の医療・介護に関して、開始後一ヶ月あまり経過した時点での会員の皆様の悩みを少しでも解消できたら...また、新しい情報などがあれば早急に共有したいとの思いより開催されました。



参加者は100名近くにのぼり、他職種の参加もあり活発な研修会となりました。

まず前半では、島倉氏（黒部市民病院）により、医療保険改正についてスライドを使い、簡単な改正の説明と、今回の参加者に事前に行った質問アンケートに関する答えが報告されました。続く質疑応答では、算定日数の上限・各疾患の算定は？.....等、活発な意見が出されました。



休憩をはさんでの後半では、介護保険改正内容を森山氏（魚津市健康センター）が話され、前半同様事前に集められた質問に答えると共に、改正の要点を話して頂きました。質疑応答では、より複雑になった加算



体制・医療難民（リハを受けられなくなる方）の受け入れ先・今後の方法...など、体制に関わることや、実際に携わっている患者様の今後等、幅広い話し合いがなされました。

最後には田村氏より「医療改革の波に流されない様、自分を見失うことの無い様に」との言葉を戴きました。

4月リセットの患者様のリハビリが打ち切りとなる秋に向けて、各々の対策・施設としての対応・県士会から協会への働き掛け・協会から国への問題提起など、やらなければならないことは山積みですが、足元をしっかりと見つめていく必要性を感じました。



◆士会員の独り言◆

「質の高い老後とは？」

射水市民病院 中村 太輔

高齢化が急速に進む今日において、介護保険制度や診療報酬などの行政の方針は「早期に在宅へ」と変化してきている。高齢者が増加すれば、それだけ高齢者を取り巻く生活、人間関係が存在することになる。それぞれ異なった環境の中で、質の高い有意義な老後とはどのようなものだろう。

私は、急性期病院に勤めて3年が経過したが、その間さまざまな高齢者の方々と接することができた。患者さんを担当するたびにできるだけ身体機能の改善を目指し、元の生活に近づけるように努力してきた。ところが、退院が決って「よかったですね」と言っても「まだ病院にいたい」「うちに帰りたくない」という否定的な声を何度も聞くことがあった。家で日中一人ぼっちになるのが寂しい、することがなく退屈だからという理由からだった。

私の祖母は、現在88歳で特に身体機能には問題なく、自宅で一緒に生活している。その祖母も日中は留守番役として一日家にいる。話を聞くとやはり寂しいという。これは自分には大きなショックだった。確かにやることも特になく漫然と一日過ごすことを考えるとやはりつらいだろうと思う。役割や生きがいになるものをなにか提供できればと考えるが、なかなか良いものを思いつけず、はがゆい思いをしている。

そして、この先自分にも訪れる老後を考えると不安でいっぱいになる。今は暇さえあれば、スノーボードや野球をしているが、歳をとればこれらはいつかはできなくなる。そうなったときに自分はどのように生活しているのか。

積極的に外へ出ていろいろな人と触れ合い、好きなことをして、好きなものを食べるという何と自由ない老後を過ごせれば言うことはない。しかし、多くの方が身体機能や家庭の事情など何かしらの問題を抱えなければならない。問題が多く、大きいほど理想的な老後像とはかけ離れる。患者さんたちは今は確かに思うように動けなかったり、退院後日中一人で寂しかったりするだろう。私の祖母を含め高齢者の方々にはこれまでの長い人生がある。一人一人の人生を尊重し、「質の高い老後」を考えながら日々の業務を進めたい。

また自分も、歳をとったときに振り返って悔いのない人生だったといえるように今を精一杯生きたい。自分の人生・仕事の目標をもって、これからもできるだけ多くの笑顔が見られるように努力していきたい。



平成17年度 第9回 理事会報告

日 時：平成18年2月2日(木)
場 所：富山市民病院リハビリテーション科
出席者：塚本 田村 堀尾 島倉 森山
滝田 川合 城戸 政井 寺田
河合(書記)

<報告事項>

事務局報告事項：PT協会関連、各都道府県士会関連、関連団体関連などの郵送物及び会員移動について報告。

平成18年富山県理学療法士会新年会報告(福利厚生部)：平成18年1月14日の新年会は出席者が31名であった。

富山県理学療法学会：各種団体と南砺市に後援依頼を出している最中で、2月8日位までには返答が来るとされる。それが来てからプログラム、ポスター、大会誌の作成に入る。演題発表は12題になり、4題ずつ3セッションを予定している。

その他：総会は学会終了後に行う。2月9日に県の公衆衛生学会の理事会がある。

<検討事項>

1. 平成18年度事業計画・予算案について：会議費、活動費をげた場合、支出の予備費が少なくなるため、記念事業繰入金を調整する。19年度に研究助成金制度を設立するための準備をする。それについての協会の資料を事務局が収集する。
2. その他：今度の理事会までに事務局が総会次第を提案する。選挙管理委員を選ぶ。代議員会への提出議題を次回まで出す。

平成17年度 第10回 理事会報告

日 時：平成18年3月2日(木)
場 所：富山市民病院リハビリテーション科
出席者：塚本 田村 堀尾 島倉 森山
滝田 川合 城戸 政井 寺田
宮原(書記)

<報告事項>

事務局報告事項：PT協会、他県士会、関連団体郵送物、会員異動等が報告された。PT協会からは会員証のガイドCDが郵送され、今月第11回富山県理学療法学会の休憩時間に上映する予定となる。

小研修会報告(中枢神経系研究会)：平成17年11月24日(木)にいま泉病院にて開催。「ヒューマンムーブメント」をテーマに山田温泉病院 仲川 仁 PTが講師となり、15名が参加。概念の説明、姿勢及び活動時の評価を行った。

第4回研修会報告(物理療法研究会)：平成17年12月9日(金)に富山医療福祉専門学校にて開催。「痛みに対する物理療法」をテーマに成和病院 宮原 謙一郎 PTが講師となり、20名が参加した。

第5回呼吸理学療法セミナー報告(呼吸ケア研究会)：平成18年2月25日(土)に市立砺波総合病院にて開催。「人工呼吸器装着患者のみかたと理学療法」をテーマに砺波総合病院 臨床工学士 伊藤 正憲 先生と嶋先 晃 PTが講師となり、22名が参加した。

「運動器の機能向上プログラムの実際」研修会報告(保健事業部)：平成18年2月25日(土)にボルファートとやまにて開催。富山県OT士会・日本健康運動指導士会富山県支部・北陸フィットネスクラブ協会に共催して頂いた。

医療保険・介護保険に関する研修会報告(医療・介護保険部)：平成18年2月25日(土)に富山市障害者福祉プラザにて開催。士会員・士会員外含め62名が参加した。

その他：事務局より士会緊急連絡網の作成案が出され、保健福祉圏域に分けて調整することとなった。

<検討事項>

1. 第5回研修会計画(スポーツ系研究会)：平成18年3月4日(土)に富山医療福祉専門学校が主催する公開講座、「スポーツ理学療法の基礎と実際」をテーマに、信州大学医学部保健学科 理学療法士 木村 貞治 先生がご講演予定で、当研究会も協力する。
2. 学会大会計画：平成18年3月12日(日)に、南砺市で開催される第11回富山県理

学療法学会大会のポスター及びパンフレットなど確認した。

3. 選挙管理委員について：現委員について検討し、候補者が挙がった。
4. その他：県士会員に配布する教育・研修計画の冊子について教育局より報告。

平成18年度 第1回

理事会(拡大役員会)報告

日時：平成18年4月15日(土)
場所：富山医療福祉専門学校
出席者：塚本 滝田 島倉 川合 寺田
堀尾 森山 政井 城戸 新
村田 徳田 赤尾 竹林 金森
酒井 中屋 森田 増山 飯島
広川 蟹谷 菱田 柴田 杉谷
宮原(書記)

< 報告事項 >

事務局：会員異動及び会員カードの申請状況について、当県士会における会員カードの申請については45名(15%)で、今後の推進が望まれる。

その他：PT協会からの当県士会員表彰者、平成17年度国家試験の合格状況が報告された。

< 検討事項 >

1. 平成17年度事業報告(各部局より)：各部局より平成17年度の事業内容が報告された。各総括としては、計画通りに活動がなされており、次回総会にて報告する。
2. 平成17年度収支決算報告(事務局)：平成17年度より組織改変により、部局の細分化が行われたため、収支決算とも予算額より増減が大きくなった。
3. 会計監査結果報告(監事)：年々管理状況が改善されてきている。しかし、会議録などマニュアルに沿っていない部もあるため今後改善をお願いしたい。
4. 士会所属調整：今年当士会入会2年目の会員対象に所属希望を募った。第1希望通りに進め、またその他の会員についても活動の継続を確認し調整していく。
5. その他：事務局より備品管理の改善、研修管理部より研修会変更時の対応につい

て確認がなされた。また各活動時の報告・確認体制の統一化を進めるべきとの意見も挙がり、部長 局長 事務局の流れで対応していくことを確認した。

平成18年度 第2回

理事会報告

日時：平成18年4月27日(木) 19:00~
場所：富山市民病院リハビリテーション室
出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田
政井 堀尾 川合 城戸
宮原(書記)

< 報告事項 >

事務局報告事項：事務局宛郵送物、公文書発行、会員異動を報告。その他：県士会から礼状郵送数件等。

< 検討事項 >

1. 平成17年度事業報告・決算報告について(事務局)：講師名の記載や組織部・福利厚生部の報告内容追加、また第9回地域保健全国大会日本公衆衛生協会より会長賞表彰受賞(団体)など確認・検討。5月21日(日)平成18年度第1回総会までに修正する。
2. 平成18年度第1回総会について(事務局) 回研修会(中枢神経疾患研究会)：5月21日(日) 職能局研修会終了後、15時45分頃に開始予定。司会者及び挨拶(士会長・閉会)、議案について検討。議案は平成17年度の事業・収支決算及び監査報告を予定。
3. 職能局研修会について(業務推進部)：平成18年5月21日(日)に富山医療福祉専門学校にて開催予定。今年4月に改定された医療・介護保険の内容を中心に質問を受け付け、これからのリハビリテーションについて考える。新人プログラム「医療法・PT法」・生涯学習各一単位。
4. 富山県理学療法士会連絡網について(事務局)：富山県の保健圏域分け、更に16ブロックに細分化した連絡網を整備。第1回総会までに作成予定。
5. その他：県内の就職情報があれば事務局まで連絡する。

事務局インフォメーション

職能局の相談窓口

職能に対して、職能局では電話による相談を受け付けています。お気軽に何でもお尋ねください。

電話番号(0765) 2 4 - 3 9 9 9 FAX(0765) 2 4 - 3 6 8 4

魚津市健康センター

森山まで

E-mail : akira.moriyama@city.uozu.toyama.jp

その他、理学療法に対する疑問点は、事務局で相談を受け付けています。事務局までメール等でお願ひします。

情報管理部の窓口から

情報管理部では、富山県士会の方から、士会活動の案内等、理学療法に関係があると思われる様々な記事を募集し、士会ニュース伝言板に掲載していく予定です。掲載希望の方は、富山赤十字病院 林 朝美 まで連絡をお願いします。

【連絡先】

〒939-0859 富山市牛島本町2-1-58

富山赤十字病院 リハビリテーション科

林 朝美 まで

TEL (076) 4 3 3-2 2 2 2

FAX (076) 4 3 3-2 2 7 4

E-mail

rehabili@toyama-med.jrc.or.jp



編集後記

いよいよ新年度がスタートしました。

新入会員の皆様、新しい職場にはもう慣れてきましたか？覚えなければならないこともたくさんあって、忙しい毎日をご過ごしていることと思います。

昨年度は個人情報保護法の開始とともに幕開けし、ようやく慣れてきた頃かと思えば、今年度は診療報酬の改正とともにスタートです。皆様の職場はどのような雰囲気でしょうか？昨年度末より、改正に向けての準備が始まり、あっという間のスタートでしたが、ようやく少し慣れてきたところでしょうかね。しかし、現状はとても厳しくなり、PTとしてもさらに頑張らなければならないと実感しています。

これからも日々精進できるよう一生懸命頑張っていきましょう。